

強靱ワイヤーネット 施工事例一覧

		地区	仕様	
1		長野県	柵高：5.0m 延長：12.0m	詳細
2		長野県	柵高：6.0m 延長：16.0m	詳細
3		広島県	柵高：5.5m 延長：15.0m	詳細
4		北海道	① 柵高：5.5m 延長：15.0m ② 柵高：5.5m 延長：20.0m	詳細
5		広島県	柵高：5.5m 延長：25.0m	詳細
6		宮城県	柵高：5.5m 延長：15.0m	詳細
7		長野県	柵高：5.5m 延長：15.0m	詳細
8		岐阜県	柵高：5.5m 延長：15.0m	詳細

強靱ワイヤーネット 施工事例 1

施工場所	長野県木曾郡南木曾町
施工目的	土石流災害後の下流民家への2次被害対策および国道、鉄道の早期供用のための安全対策
施工概要	柵高 H=5.0m 延長 L=12.0m 3スパン
備考	平成26年7月豪雨により渓流全域にわたり河床洗掘、護岸の被災が著しく発生するとともに、下流の鉄道橋梁が落橋した。既存治山堰堤天端に設置された事例。



強靱ワイヤーネット 施工事例2

施工場所	長野県木曾郡南木曾町
施工目的	①土石流災害後の下流民家への2次被害対策および国道、鉄道の早期供用のための安全対策 ②破損した鋼製スリット堰堤の防護
施工概要	柵高 H=6.0m 延長 L=16.0m 1スパン
備考	平成26年7月豪雨による土石流を受けて、破損・一部流出した鋼製スリット堰堤の防護として堰堤前堤部に直接設置した事例（支柱のないタイプ） 施工事例1の上流部に同時施工



強靱ワイヤーネット 施工事例3

施工場所	広島県広島市安佐南区
施工目的	土石流災害発生後の応急対策 (砂防堰堤工事完了までの仮設安全対策)
施工概要	柵高 H=5.5m 延長 L=15.0m 3スパン
備考	平成26年8月豪雨による広島市内での土砂災害の応急対策として砂防分野・治山分野で多数用いられた内の1事例。砂防堰堤完成後はその多くが撤去され他の箇所に転用されている。



強靱ワイヤーネット 施工事例4

施工場所	北海道上川郡新得町
施工目的	高速道路における土石流災害の応急復旧
施工概要	① 柵高 H=5.5m 延長 L=15.0m 3スパン ② 柵高 H=5.5m 延長 L=20.0m 4スパン
備考	平成28年台風10号の豪雨により、高速道路トンネル坑口付近で土石流発生、トンネル内に流入して通行止めとなり、緊急の安全対策として強靱ワイヤーネットが2基設置された事例。



強靱ワイヤーネット 施工事例5

施工場所	広島県安芸郡熊野町
施工目的	土石流災害発生後の応急対策 (砂防堰堤工事完了までの仮設安全対策)
施工概要	柵高 H=5.5m 延長 L=25.0m 5スパン
備考	平成30年7月西日本豪雨による土石流災害に対して、国土交通省直轄砂防災害緊急事業の応急対策として強靱ワイヤーネットが設置された事例。



強靱ワイヤーネット 施工事例6

施工場所	宮城県伊具郡丸森町
施工目的	土石流災害発生後の応急対策 (砂防堰堤工事完了までの仮設安全対策)
施工概要	柵高 H=5.5m 延長 L=15m 3スパン
備考	令和元年10月台風19号による土砂災害の緊急的な砂防工事の一貫として設置された事例。



強靱ワイヤーネット 施工事例7

施工場所	長野県野沢温泉村
施工目的	土石流災害発生後の応急対策 (砂防堰堤工事完了までの仮設安全対策)
施工概要	柵高 H=5.5m 延長 L=15m 3スパン
備考	令和元年10月台風19号による土砂災害の緊急的な砂防工事の一貫として設置された事例。



強靱ワイヤーネット 施工事例8

施工場所	岐阜県郡上市
施工目的	土石流災害発生後の応急対策 (砂防堰堤工事完了までの仮設安全対策)
施工概要	柵高 H=5.5m 延長 L=15.0m 3スパン
備考	令和2年6月に発生した土砂災害において、災害関連緊急砂防事業が採択され、砂防堰堤工事完了までの応急安全対策として、既存砂防施設の上流側に設置された事例。

